

第4期地域福祉計画の成果指標について

基本目標1 みんなが地域づくりに関わり、みんなで支え合えるまち							
個別目標	めざす成果	No	成果を計る主な指標	担当課	実績(H24)	中間目標値(H28)	目標値(H30)
1. 福祉への理解と関心を高めます	「福祉について考える人が増えている」 福祉に関する様々な学習機会が提供されることにより、福祉について考える人が増えています。	(1)	介護予防普及啓発事業等(※)開催回数(高齢福祉課) ※ 介護予防に関する講演会、セミナー、健康教育	高齢福祉課	13回	17回	19回
		(2)	車いすバスケットボール体験講座実施学校数	健康福祉総務課	8校	11校	13校
2. 福祉活動の担い手を育成し活動を支援します	「福祉活動をする人が増え、団体がいきいきと活動している」 新たに福祉活動を始める人が増えています。また、福祉活動を展開する団体が活発に活動しています。	(3)	介護予防サポーター養成講座受講者数	高齢福祉課	累計645人	累計1,165人	累計1,425人
		(4)	こころサポーター養成講座受講者数	障がい福祉課	累計407人	累計567人	累計647人
		(5)	ファミリーサポートセンター支援会員数	保育家庭課	累計130人	累計160人	累計175人
3. 気軽集える居場所や社会参加の場をつくります	「地域に安心できる居場所がある」 地域に気軽集え、社会参加の場があり、その人らしく生き生きとした生活を送っています。	(6)	つどいの広場の1か所1か月あたりの平均利用者数	こども総務課	2,007人	2,100人	2,200人
		(7)	子育て応援ガイド配架箇所数	健康福祉総務課	51か所	60か所	70か所
4. 地域福祉活動団体との連携をすすめます	「地域の福祉活動が活発に行われている」 行政と地域福祉活動団体が積極的に連携し、様々な活動に取り組んでいます。	(8)	市と要援護者名簿を共有している自治会の割合	健康福祉総務課	66.4%	74.0%	78.0%

基本目標2 地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち							
個別目標	めざす成果	No	成果を計る主な指標	担当課	実績(H24)	中間目標値(H28)	目標値(H30)
5. 支援が必要な人々への訪問活動を充実します	「支援が必要な人々のためのしくみが整っている」 支援が必要な人を早期に発見する体制が充実し、適切な対応が行える体制が整っています。	(1)	「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」の締結事業者数	高齢福祉課	6事業者	7事業者	8事業者
		(2)	特定健康診査受診者への訪問指導件数	健康づくり推進課	281件	500件	600件
		(3)	乳児家庭全戸訪問事業による訪問率	こども総務課	94.5%	96.0%	98.0%
6. 相談体制を整え情報提供を充実します	「いざというときに福祉の相談ができる」 子育てや福祉に関する相談、専門知識が必要な相談の体制が整っています。	(4)	地域包括支援センターでの相談件数	高齢福祉課	39,165件	45,319件	46,696件
		(5)	子育て支援センターでの相談件数	こども総務課	2,165件	2,200件	2,250件
7. 包括的で継続的な支援の体制を整えます	「支援が必要な人が安心して暮らしている」 支援が必要な人を支援する体制が整い、適切な支援が継続して受けられます。	(6)	要保護児童対策地域協議会への参加機関数	保育家庭課	15	18	20
8. 地域で暮らしやすい在宅サービスを提供します	「必要な在宅サービスの支援が受けられる」 地域の中で安心して生活を送るための必要な在宅サービスが利用できています。	(7)	生活保護受給世帯のうち、働ける世帯(その他世帯)の割合	生活援護課	21.8%	20.6%	20.0%
9. 権利擁護の仕組みづくりを推進します	「権利擁護サービスを受けられる体制が整っている」 判断能力が不十分な人を支援する体制が整い、必要な支援を受けることができます。	(8)	認知症サポーター数	高齢福祉課	累計3,630人	累計4,900人	累計5,500人